

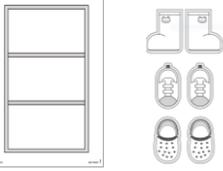
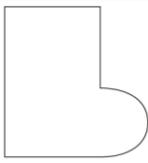
2歳児クラス 3月 第1回 「こびとのくつや」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：手遊び「♪いとまきまき（小人さんのお靴バージョン）」を子ども達と一緒に楽しむ。 保：手遊びが終わったところで絵本を持って登場。「ぼくたち靴を作ってるんだ。みんなの靴はどんな靴？」と問いかけ「僕達の靴見てね」と講師に絵本を渡して話の導入とする。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「トントントン・シュシュシュ！」など、靴を作る場面は机を叩いて音を出すなど、雰囲気を作りをしながら読む。 ②2足、4足、たくさん靴が並ぶ場面は、学習タイムの活動とつながながら、2つ（左右）で1足であること・綺麗に並んでいると気持ち良いことなどが印象に残るよう強調して読み進める。 ③最後は「おしまい」と余韻を残しつつ静かに終了し活動へと進める。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> 絵本を持って登場、講師と会話する。 	

がくしゅうタイム

活動①	生活	同じ靴を「ぴったんこ」と揃えて靴箱に貼ることができる	
設問	同じ靴をぴったんこ（対）にして靴箱にしましましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「小人さん、嬉しそうだったね。今頃まだどこかで靴作っているのかな？」 保：「先生見て」とばらばらになった3種の靴カードを提示（トレーに広げたりマグネットを付けてボードに貼るなど、見やすく提示する）。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「あら？小人さんが作った靴かな？でもこのままだと履く時に大変ね。先生が綺麗に並べてあげよう」「これは誰の靴かな？どんな時に履く？」と靴の特徴に興味を持たせると共に、靴は対で一足であることにも触れながら、子ども達を巻き込みながら靴同士を「ぴったんこ！」をキーワードに揃え「綺麗に並ぶと気持ちいいね」と見本を見せる。 保：「まだこんなにたくさん…」と配布用カードを提示する。 ※1人3種を1セットずつ皿などに入れておく 講：「こんなにたくさん先生1人では無理。みんなも一緒にぴったんこできるかな？」と誘い掛け、靴を配布する。 子：見本同様、靴を皿から出して揃えていく。 講：「このままだとまたバラバラになっちゃうね…みんなの靴はいつもどこにしまう？そうだね、靴箱にしまっておこうね」と靴箱プリントを提示し、靴カードを揃えてプリントに貼っていく見本を見せる（シールゴミは皿の中）。 「これで大丈夫。みんなの靴もしまえるかな？」と声を掛けプリントを配布する。 子：プリントを受け取り見本同様貼っていく。（貼る場所は講師と違って良い） 講：全員が貼れたところで綺麗に揃った靴を見せ合いっこ。 「これで小人さん喜ぶね。良かったね」と称賛。 保：プリントを回収する。 		保育士の役割
活動②	巧緻性	紐通しに興味を持ち集中して紐が短くなるまで紐通しを楽しむ	
設問	靴の穴に紐を通して素敵な靴を完成させましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「いらっしやいませ。小人さんが作った素敵な靴はいかがですか」靴屋さんになって靴（ブーツカード）を提示。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「素敵な靴ください」 保：「おはじき4個いただきます」 		ブーツカード(穴あき) 靴用ひも 1人1本 (片側セロテープ、片側おはじき付き) おはじき皿
	数にチャレンジ 講：おはじきを子ども達と一緒に「1・2・3・4…全部で4」と数えて取り「ください」「ありがとう」のやり取りの見本を見せて靴と交換する。 ※先月からの繰り返しの活動。おはじき「4個」の取り方は子ども達の		

状況、理解度に合わせて行っていく。

- ・保：「靴にはこの紐を通してくださいね」と講師に紐を渡す。
- ・講：紐の両端を確認。子ども達に見える様に靴の穴に紐を通し見本を見せる。
※おはじきの無い方の端を持ち、穴に紐を通して反対側から「シュー」と抜く様子を繰り返し見せていく（この最後まで引っ張る動作がポイント）。通し方は並み縫い式にしたり×にしたり絡めたり自由。紐が短くなるまで通して見せていく。
「見て！先生の素敵な靴！！あれ？皆の無いね？みんなも靴を買って、シューって紐を通して完成させてみようか？やりたい人！」と誘い掛ける。
- ・子：見本同様におはじき「4個」を数えて取りブーツと交換する。
- ・保：交換できた子から紐を配布。
- ・子：見本同様に自由に紐を通していく。
- ・講保：まずは子ども達の紐通しの様子を見守る。ただし、最後まで紐を引くことを理解できない子には「シュー」のことばと共に引くことを理解させ、補助をしていく。
- ・講：完成した靴を見せ合い、紐の通し方の違いなど確認し称賛。最後まで頑張った達成感を持って終了する。

- ・靴屋さんで登場、おはじき「4個」と交換でブーツを渡す
- ・紐配布
- ・紐通し補助
- ・称賛

数チャレ	ねらい	数	おはじき「4個」を数えることができる	教材
設問	おはじき「4個」と交換で靴を買いましょう。			
活動内容	※<活動②>の中で実施します			保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達参加型の読み方をすることが出来たか
活動① 生活	対になること、「1足、2足」と数えることも指導したか
活動② 巧緻性	見本提示は子ども達の視線を意識しながら手元をしっかりと見せることが出来たか
数チャレ	全員がきちんと「4個」取れるように個別指導を行ったか

楽習タイム♪

*** テーマ・巧緻性 ***

穴通し遊び

<遊び方>

- ・下の写真の様に短く切りそろえたストローやおはじきの穴に繰り返し紐を通していきます。

※紐の片側は通しやすくテープを巻いてはつれ止のを、反対側はおはじきなどで通過止のをして準備しましょう。

※単純な遊びですが、色の配置にこだわったり、他の人と長さや量を競い合ったり、誰かのプレゼントにするなど繰り返す中で子ども達なりの新しい発見や工夫が見られる遊びです。

※指先の巧緻性を鍛えることはもちろんのこと、夢中になって遊ぶ中で集中力を鍛え、子ども自身で達成感を味わうことのできるおすすめの遊びです。



ストローの太さを変えたり、それぞれの色の数を増やすことで遊びの幅も広がりますよ。



今月のえかきリズム

*** は な ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

